

# 船穂小学校の今後の対応等に係る意見交換会の開催結果について（お知らせ）

令和2年1月発行  
 印西市教育委員会 教育部 学務課

令和元年10月28日（月）午後7時から、船穂小学校において、船穂小学校及び船穂小学校区の児童並びに船穂小学校区の未就学児の保護者の皆様を対象として、教育委員会主催により船穂小学校の今後の対応等に係る意見交換会を開催したところ、35名の保護者の皆様にご参加いただきました。

意見交換会では、参加された皆様より様々なご意見等をいただいたところですが、意見交換会の概要をまとめましたので、関係する保護者の皆様にお知らせいたします。

- ◎はじめに
- 市内の小・中学校の現状は、少子化の進展等により児童生徒数が減少している学校と宅地開発等により児童生徒数が増加している学校とがあり、学校規模の差が年々拡大している傾向にあります。
  - 教育委員会では、学校規模により生じる課題を解消し、より良い教育環境の整備と教育の質の向上を図るため、平成28年10月に「印西市学校適正規模・適正配置基本方針」（以下「基本方針」という。）を策定し、学校適正規模の基準などを定めて、市内の小・中学校の学校適正配置を進めています。
  - 平成28年11月に、船穂小学校区の児童及び未就学児の保護者の皆様を対象とした基本方針の策定に伴う説明会を開催後、約3年が経過しましたが、この間、教育委員会では、基本方針に基づき、学校適正配置の優先度が高い学校から段階的に学校適正配置の推進に取り組んでまいりました。
  - 船穂小学校は、基本方針策定時には各学年1学級を有していましたが、令和元年度では第2学年と第3学年が複式学級の編制となり、現時点で、学校適正配置の優先度が最も高い小規模校（過小）へと推移し、小規模化が進んでいます。
  - 現行の基本方針における船穂小学校の学校適正配置シミュレーションは、高花小学校との統合を進めることとしています。

## 1 事務局の説明

### （1）基本方針における学校適正規模の基準

教育指導面や学校運営面の観点から、本市における学校適正規模の基準を次のとおりとしています。

#### 小学校

区分	通常学級数	状況	対応
過小	5以下	複式学級や欠学年を有する。また、クラス替えができない。	適正規模化を実施する。
小規模校	6	クラス替えができない。	適正規模化を検討する。
準適正規模校	7～11	クラス替えができない学年がある。	児童数の推移を注視する。
適正規模校	12～24	クラス替えができる。	
大規模校	25以上	施設利用面から教育活動に支障が生じる場合がある。	児童数の推移を注視し、適正規模化を検討する。

#### 中学校

区分	通常学級数	状況	対応
過小	3以下	クラス替えができない。また、専任の教科担任を配置できない教科がある。	適正規模化を実施する。
小規模校	4～5	クラス替えができない学年がある。また、専任の教科担任を配置できない教科がある。	適正規模化を検討する。
準適正規模校	6～11	クラス替えは可能であるが、専任の教科担任を配置できない教科がある。	生徒数の推移を注視する。
適正規模校	12～24	クラス替えが可能で、専任の教科担任を配置できる。	
大規模校	25以上	施設利用面から教育活動に支障が生じる場合がある。	生徒数の推移を注視し、適正規模化を検討する。

## (2) 船穂小学校の状況

### ① 児童数及び学級数の現状

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
元年度 (R1.5.1現在)	児童数	3	7	6	4	13	14	47
	学級数	1	複式学級	①	①	1		5(1)

※学級数の○内の数字は、増置教員により複式学級を解消している。

※合計の( )の数字は、特別支援学級の数。

小規模校（過小）の状態

小規模校（過小）による課題解消のため基本方針に基づく適正規模化を実施。

### ② 今後の児童数の推移

	R2	R3	R4	R5	R6
1年	6	9	8	11	6
2年	3	6	9	8	11
3年	7	3	6	9	8
4年	6	7	3	6	9
5年	4	6	7	3	6
6年	13	4	6	7	3
計	39	35	39	44	43

※各年度の入学予定児童数については、学区外就学を考慮していない。

R5まで小規模校（過小）のまま推移

将来的にも小規模校（過小）の状態が継続し、さらに学区外就学等の状況により児童数が減少する可能性がある。

### ③ 学区外就学の状況

	H28	H29	H30	R1
船穂小学校の児童数 (a)	53	47	52	47
他校に学区外就学している児童数 (b)	15	15	19	16
学区外就学している児童の割合 (b) / (a+b)	22.1%	24.2%	26.8%	25.4%

※各年5月1日現在。

※各年度の児童数には特別支援学級を含む。

### (3) 船穂小学校の今後の対応等

現在の船穂小学校の状況は、子どもたちの教育環境や条件に不均衡を生じさせ、教育活動等に様々な影響を及ぼす恐れがあることから、学校規模により生じる教育指導上や学校運営上の課題を解消し、船穂地区の子どもたちにとってより良い教育環境の整備と教育の質の向上を図るため、基本方針に基づき、学校適正配置を進めるにあたり、保護者の皆様と船穂小学校の今後の対応等につきまして、意見交換等を継続して行ってまいりたいと考えています。

【参考】基本方針の詳細は市ホームページをご覧ください。

・基本方針 (<http://www.city.inzai.lg.jp/0000006000.html>)

## 2 意見交換会での主な質疑応答等

今回の意見交換会において、参加された保護者の皆様からいただきました主な質疑やご意見等は次のとおりです。

### 主な質疑応答等（要約）

**質問** 学区外就学をしている児童はどここの学校に行っているのか、また、その地区、家族構成、学区外就学をしている理由を教えてください。

**回答** 学校については、内野小、高花小、原山小となっている。  
理由については、地理的なものが主な理由となっているが、個別に何度も教育委員会の窓口に来ていただいて、相談をしている。  
また、それぞれの家族構成等については、個人の特定に当たる可能性があるため、回答できない。

**質問** 本来は学区が決まっているのに、何で簡単に学区外就学が許可されるのか。

**回答** 印西市では通学区域を指定しており、基本的には、その指定した学校に通っていただくのが原則であり、相談にきたからといって、安易に学区外就学を許可したことは過去にない。  
理由によっては、許可をしなかったこともあり、何度も相談する中で、お子様にとってより良い環境になると判断した場合に、学区外就学を認めている。

**質問** 学区外就学を許可しなかったこともあるとのことだが、学区外就学の申請が何件あって、何件断ったのか、具体的な数字を教えてください。

**回答** 資料を持ち合わせていないため、回答することができない。

**意見** 私達はそのままやっていきたいと思っても、安易に学区外就学を許可して、船穂小の児童を減らしていこうとされているのかなと感じてしまう。

船穂小では、お母さん達ともすごく仲良くでき、地域の方も一生懸命やってくれており、先生達も学年を越えて自分の子供の名前を覚えてくれるので、船穂小に入れて良かった。

人数が減ってきたからと言って、統合というのではなく、教育委員会の方達も船穂小学校を守っていこうという姿勢が感じられず、納得できない。

**意見** 船穂小学校は本当に良い学校だと思っている。

この小学校があるということは、在籍している子供達だけではなく、地域の元気の素になっており、学校と地域とのつながりがものすごくあり、船穂小が無くなってしまうと地域の元気もなくなり、衰退につながる一つになると思う。

市内の他の学区から小規模校に通わせる小規模特認校制度というのがあり、色々調べてみたが、千葉県の小規模特認校を調べたところ、13校のうち11校が明治の創立となっている。

推測だが、地域とのつながりがすごくあり、歴史のある小学校を残したいという思いが強かったからこそ残ったのではないかなと思う。

そう考えると船穂小学校も明治の創立でとても歴史があり、学校がなくなるというのは、母親としても、地域の住民としても寂しい気持ちである。

**意見** 教育委員会で船穂小学校の良さをアピールしていただくなど人数を増やす努力をしてもらいたい。

**質問** 大人数で困っている学校がある一方で、少ない人数で困っている学校もあるので、資料には小規模特認校は成功する見込みはないと書いてあり、今も変更されていないと思うが、検討する価値はあると思う。

小規模特認校は成功しないかもしれないと言っているのではなく、成功させるために、教育委員会で小規模校の良さをアピールし、良い学校であることを周知徹底させれば、他の学区からの児童が見込めるのではないかと思うので、まずは、学校を残す方向で力を注いでほしい。

**回答** 小規模特認校については、どこの学校の例を見ても、教育委員会が適正規模としているところまでは集まってきていないということを考え、小規模特認校については考えていない。

また、他の小学校からの児童が見込めないかについても考えたが、過去に同じ中学校区の違う小学校の保護者の方を対象に、小規模校に通う希望はあるかというアンケートを実施したことがあり、そのときはゼロに近い数字しか希望をしなかったことも考え、現在の案を提案させていただいている。

**質問** 文科省の通達にある無理な学校の統廃合の禁止、小規模校の尊重、学校の地域的意義の考慮、住民合意の大前提のもとに、学校統廃合について市町村が判断して決定し、最終的には議会の承認が必要であると思うが、教育委員会で統廃合の委員会を設置し、そこで決定して、最後に議会での承認という流れになると聞いているが、間違いないか。

**回答** 最終的に案を決定するのは教育委員会であり、議会の承認を得て、正式決定となるが、保護者や地域の皆様のご理解、ご賛同が得られないのに、教育委員会の考えだけで強引に進めることはしない。

**質問** 国の学校教育法施行規則では学校適正規模は12学級から18学級となっているが、印西市は何をもって12学級から24学級を適正規模としているのか教えてほしい。

**回答** クラス替えができないことが人間関係の固定化につながって、色々な課題が生じるということで、最低でもクラス替えができる2学級、6学年で12学級、また、本市では人口の増加等の推計を考慮し、国の18学級よりも多い24学級までを適正規模校としている。

**質問** 学校の適正規模については、多くの研究がされており、WHOなどでは、生徒が100人を上回らない規模が望ましいとしており、こういった学問的な報告があるのに、なぜ適正規模は12学級から24学級になるのか、とても疑問に思う。

はっきり言って、教育的観点から見た適正規模と言いながら、行政の財源の圧縮しか考えていないのではないかと思うが、本当に教育委員会では教育的観点から見た適正規模と考えているのか。

**回答** 学級数によって教員の配置が決まるため、学級数が少なくなっていくと教員も配置されなくなる恐れがあり、そうなる前になんとかしたいと考えている。

**意見** そもそもの考え方として、学校統廃合ありきで進めるのは本当にやめてほしい。

平成30年度の統計で、印西市の小学校の児童数は約6,379人で、原小学校と小倉台小学校の児童を合わせて約2千人、約3分の1がその2校の児童であり、教育的にそちらの方がかわいそうだと思う。

全児童を単純に18校に振り分けると約350人となり、それくらいの規模の学校にした方が印西市の子供達にとって、すごく良いと思う。

**質問** 小倉台地区の開発に伴い、小倉台小学校は2億3,650万円をかけて増築工事を行っており、その費用があれば、循環バスの検討をすることもできたのではないかと思う。

回答 大規模校については、現在の方針において、まずは施設の増改築で対応し、それでも増え続けるようであれば、通学区域の見直し、それでもその状況が続くようであれば、新しい学校を作るといような考えでいるため、まずは小倉台小学校の増築を行ったところである。

意見 25%の児童の学区外就学を認めている状況からも、統廃合ありきだと思う。  
質問して返ってくる回答は本当にそれしかなくて、はっきり言って何のための意見交換会なのかなと思う。  
結局こういう統廃合の説明をしたという結果だけ残して終わりにするのではなく、本当に意味のある会議にしていきたいと思う。

意見 小倉台小学校に入学する保護者の方が大規模校への入学が不安で仕方がないと言っている。その一方でアンケートを取った時に学区外就学の希望がほぼゼロとのことだが、シチュエーションによってデータはいくらでも変えられると思う。  
アンケートの数値として表れていないだけで、大きな小学校に通わせてうちの子は大丈夫だろうかと思っている保護者の方はすごく多いと思う。  
船穂小学校のような小さな学校の良さは、本当に細かく見ていただける、活躍の場がたくさんある、他の学年との交流がたくさんある、その良さは大規模校では絶対ないと思う。  
統合の方向へ進んでいく前に、少ない学校の良さをもっと印西市の教育の豊かさにつなげる発想ができないかなと思う。

意見 ここに出てきている保護者の意見を教育委員会の中で検討していただいて、印西市は他の市町村と違うというところを見せてほしい。

質問 市として、いつ頃の統合を目指すというのは決まっているのか。

回答 保護者の方々や地域の方々にご理解がいただけないので、具体的にいつというのはない。

今年度中にご理解が得られた場合は、令和3年4月から統合が可能であると考えているが、決定とか予定とかではない。

意見 そういう数字を出されると一人歩きしてしまうため、令和3年4月というのは二度と口に出さないでほしい。

質問 多々羅田は船穂小学校の学区内で、今造成が始まっており、40区画くらいあるが、その地区からの学区外就学の相談について、教育委員会はどのように考えているか。

回答 学区外の相談は個々に十分に事情を聞いて、指定校をお知らせした上で、相談をしているため、すぐに許可をするというものではない。

意見 40区画あるため、まずは船穂小学校区であることを丁寧に説明していただきたいと思う。

質問 反対があれば統合しないということはあるのか。

回答 ある。

**意見** 1年生に女の子が1人で、単純に子供だけのことを考えると、高学年になっても女の子1人というのは、親として考えてしまう。

統合に賛成とか反対とかではなく、個人的な意見だが、このまま6年生まで女の子1人というのは、正直考えられない思いがある。

**意見** 先ほど、1年生の女の子の話があったが、私も同じ立場であれば、悩むと思う。

その子のためにも、他の小学校の人達に船穂小学校の状況を知ってもらい、船穂小学校に通いたい方は船穂小学校に通学できるという手紙とかを出してほしい。

他の地域でやってみて、希望がなかったからではなくて、まずやってみないとわからないので、できるだけことをやってダメなら、しょうがないと納得できる。

小倉台小学校の方に話を聞くと、クラスの人数が多くて、担任の先生が一人一人と話せないとか、おはよう以外話をしないで一日終わったとか、ここではあり得ないことである。

**質問** 学区外のことで、結局許可を出しており、これから新しく家を建てる場合には、学区外を認めず、この地区は船穂小学校とはっきり言っていただければ良いと思う。

今少なくなったからということではなく、先々を考えると、もしかしたら、家が建ったり、マンションが建ったりして、児童が増えるかもしれない。

私達がいくら頑張っても、教育委員会が船穂小を守ってくれるという何か動きがないと人数は増えないと思う。

子供達のためと言うが、人数以外で、何か船穂小学校のことを調べてきているか。

**回答** 何人になったからというのではなく、少人数での色々なメリットはあるが、少しでも多い集団の中での教育を経験するメリットの方が大きいと考えて、こういう話をさせていただいている。

**質問** 廃校になるという噂が広まっていて、このままでは人数が増える見込みはないが、教育委員会でスクールバスを考えると何か人数を増やすことを考えてもらいたい。

**回答** スクールバスも含めて、本日いただいたご意見を踏まえて、持ち帰って検討させていただきたい。

**質問** 印西市学校適正規模・適正配置基本方針の資料は小規模校だけでなく、原小学校などの大規模校の保護者の方にも同じ資料を配っているのか教えてほしい。

**回答** 町内会等を通じて、全戸配布した。

**意見** 小規模校など印西市にこういう学校があるということを、印西市全体で考える必要があると思う。

今年の3月に小規模校の小学校が3校閉校になったが、千葉ニュータウンに住んでいる人はこのことを知らない人が多くいると思う。

**質問** 原小学校のグラウンドで何クラスも体育の授業をやっているのを見たことがあるが、それを考えると教育環境はどうなのかなと思う。

また、大きな学校は例えば音楽室とかも一つしかなくて、その中で時間割などを先生方が一生懸命考えていると思うが、学校に行ってそういった現状を見たことがあるか。

**回答** ある。

質問 そのことについて、どう思うか。

回答 大きな規模の学校のそういったデメリットを見て感じているが、グラウンドの広さというのはすぐに対応できるものではないため、学校の中で工夫をしてやってもらっているのが現状である。

質問 基本方針はいつ頃できたものか。

回答 平成28年10月に策定した。

質問 この3年で学校の環境は大きく変わってきていると思うので、基本方針を変えることはできると思う。

都内の学校では学校を選べるようになっており、印西市でもそうすることができるのではないかと思う。

大規模校にそういったアンケートを取っていただく考えはあるか。

回答 持ち帰って検討をさせていただきたいと思う。

質問 3年前に説明をしていただいた方とだいぶ顔ぶれが違うが、きちんと私達が意見したことが申し送りさせているか不安だが、どのように引継ぎをされているのか。

回答 資料にもお配りしているが、3年前にどのような意見が出ているかは確実に引継ぎされている。

ただ、3年の間が空いてしまったのは申し訳なかったと思うが、より優先度が高い学校からこのような意見交換会などをやってきた関係で、期間が空いてしまった。

質問 3年前に説明会を開いて、色々な意見が出たと思うが、その意見を踏まえて、何か動いていただいたことはあるか。

回答 3年前は1学級ずつあり、まだ過小となっていなかったため、具体的に船穂小学校の児童を増やすためにしたことはない。

質問 これまでの他の学校の統廃合に向けた意見交換会などでの意見を聞いた中で、印西市の教育に反映させた試みは何かあるか。

回答 同じ中学校区の別の小学校にアンケートを実施した。

意見 人数だけを考えた場合はこのままでは統合になってしまうので、そうならないように教育委員会で何か積極的に動かないと無理である。

まずは、同じ学年に女の子が1人というのはとても心配だし、統合に向けて話し合いを進めるよりも、現状で船穂小学校の児童をどうやったら増やせるかが、まずは第一歩だと思う。

増築にお金をつぎ込むよりも、大きな学校はどうやったら児童を減らすことができるか、同時に小さな学校はどうやったら児童を増やすことができるか、今ある小学校が適正になるようにするのが第一歩だと思う。

質問 学校が大きすぎるというような大規模校からの学区外申請の相談はあるか。

回答 何件という数字は持ち合わせていないが、実際にそういった相談はあった。

質問 そういった相談の時に小規模校を紹介していただくなどすれば、スクールバスを通す良いきっかけになるのではないかと思う。

回答 こちらから特定の学校を進めることは制度的にできない。

質問 ご理解を得られたらとのことだが、今まで他の学校を統廃合してきた中でどういったことを判断材料にしてきたのかを教えてください。

回答 100パーセント皆様が同意していただけることはあり得ないと考えているが、このような話し合いを保護者や地域の皆様に何回かさせていただく中で、多数決をとるとかではないが、統合していくのが良いのではないかと確認ができた場合に、具体的なスケジュールを決めていくことになる。

例えば統合が決まった場合には、今までの統合はすごく期間が短かったので、最低でも1年間の準備期間を設けたいと考えている。

意見 大規模校の対策として、学校を選択できるようにしているが、学校の人数に上限を設定しないと、人数の格差はどんどん広がってしまうと思う。

仮に船穂小を高花小に統合しても、今度は高花小の児童を増やさないと船穂中がなくなってしまうかもしれないので、学区外就学について、もっと大事に取り扱っていただきたいと思う。

## ◎おわりに

○子どもたちのより良い教育環境の整備を図るため、今後も、課題を共有しながら、引き続き、意見交換等を行ってまいりたいと考えております。

○意見交換の内容等につきましては、必要に応じ、情報提供をしてまいりたいと考えております。

### 【問い合わせ先】

印西市教育委員会 教育部学務課

学校適正配置推進係 電話：0476-33-4704（学務課直通）

